

平成30年度 高知県の後期高齢者医療費の状況

1. 後期高齢者医療制度について

(1) 後期高齢者医療制度の概要

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療費の負担を高齢者世代と現役世代で明確にし、公平で分かりやすい制度とする観点から、原則75歳以上の方を対象とした医療保険制度として、平成20年4月に創設されました。

※制度についてのより詳しい説明は、ホームページ上の「後期高齢者医療制度の概要」などをご覧ください。

(2) 後期高齢者医療制度の対象者

- ① 75歳以上の方
- ② 65歳以上75歳未満で寝たきり等の一定程度の障害の状態にあることについて後期高齢者医療広域連合の認定を受けた方

(3) 後期高齢者医療費とは

後期高齢者医療費とは、入院診療費、外来診療費、歯科診療費、調剤費用、入院時食事・生活療養費、訪問看護療養費など、一部負担金(医療機関の窓口で支払う患者負担金)を含めた医療費の合計額のことです。

ただし、健康診断や予防接種などの自費診療分は除きます。

2. 後期高齢者医療費の財源構成について

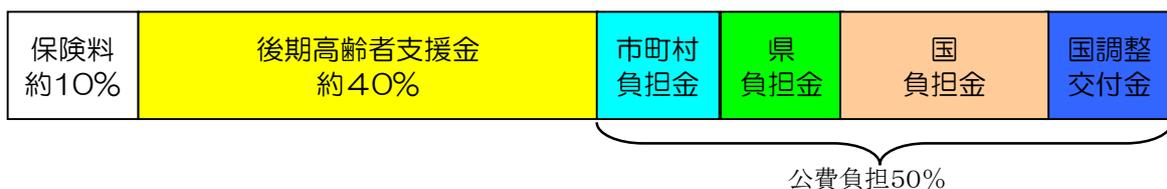
一部負担金を除いた後期高齢者医療費は、被保険者からの保険料が※約10%、現役世代が加入する各医療保険者(国保、協会けんぽ、共済等)からの後期高齢者支援金が約40%、残り約50%を国、県、市町村が4:1:1の割合で負担(公費負担)します(表1-1, 表1-2参照)。

ただし、現役並み所得者(原則、課税所得が145万円以上の方)の一部負担金を除いた医療費については公費負担がありません。

※保険料の割合は、2年ごとに政令で定められ、平成26、27年度は10.73%、平成28、29年度は10.99%、平成30年度、令和元年度は11.18%、令和2、3年度は11.41%となっています。

表1-1

一部負担金を除いた医療給付費の財源構成

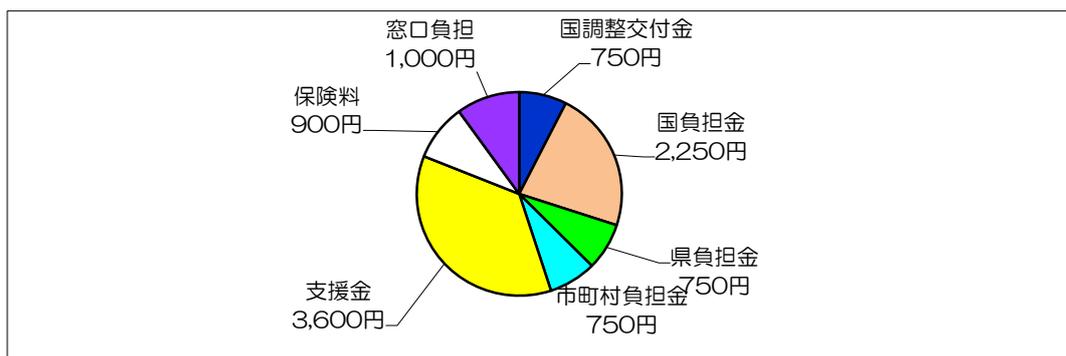


※現役並み所得者については公費負担がありません。

表1-2

総医療費が1万円の場合の財源構成

・医療機関での窓口負担が1割、保険料の割合を10%とした場合の例



3. 高知県の後期高齢者医療費の状況

【状況】

平成30年度の高知県の後期高齢者医療費は、約1,482億円で、前年度に比べ、約18億円、1.2%増加しています(表2-1参照)

また、平均被保険者数は125,771人で、前年度に比べ、755人、0.6%増加しており(表2-2参照)、一人当たりの医療費は、約1,178千円で、前年度に比べ、約7千円、0.6%増加しています(表3参照)。

【本県の医療費が高い要因】

高知県の医療費が高い要因は、1人当たりの入院医療費が高い(全国第1位)ことが挙げられます。これは、人口10万人当たりの病床数が多い上に、入院受診率が高く、入院期間が長期化していることが影響しているものと考えられます。

①人口10万人当たりの病床数(介護療養病床除く)が全国第1位で、全国平均の約1.9倍(平成30年度)

②入院受診率が非常に高く、全国第1位(平成30年度)

③入院レセプト1件当たりの入院日数が全国第1位(平成30年度)

④平均在院日数(介護療養病床除く)が全国第1位(平成30年度)

表2-1 医療費の推移

年度	総額(億円)	対前年度比
平成26年度	1,380	101.4%
平成27年度	1,446	104.8%
平成28年度	1,425	98.5%
平成29年度	1,464	102.7%
平成30年度	1,482	101.2%

表2-2 被保険者数の推移(3~2月末平均)

年度	被保険者数(人)	対前年度比
平成26年度	121,373	99.9%
平成27年度	122,070	100.6%
平成28年度	123,521	101.2%
平成29年度	125,016	101.2%
平成30年度	125,771	100.6%

表2-1グラフ

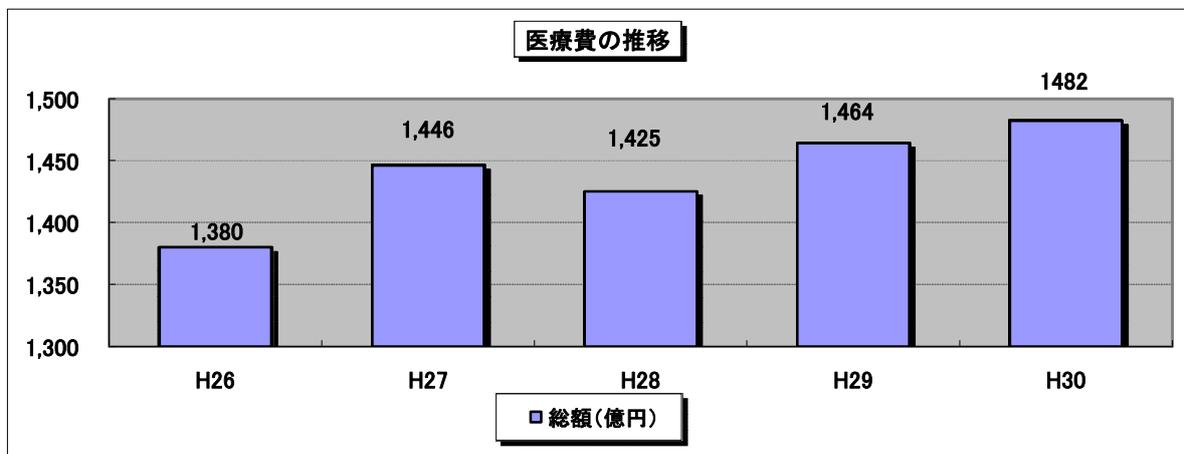


表2-2グラフ

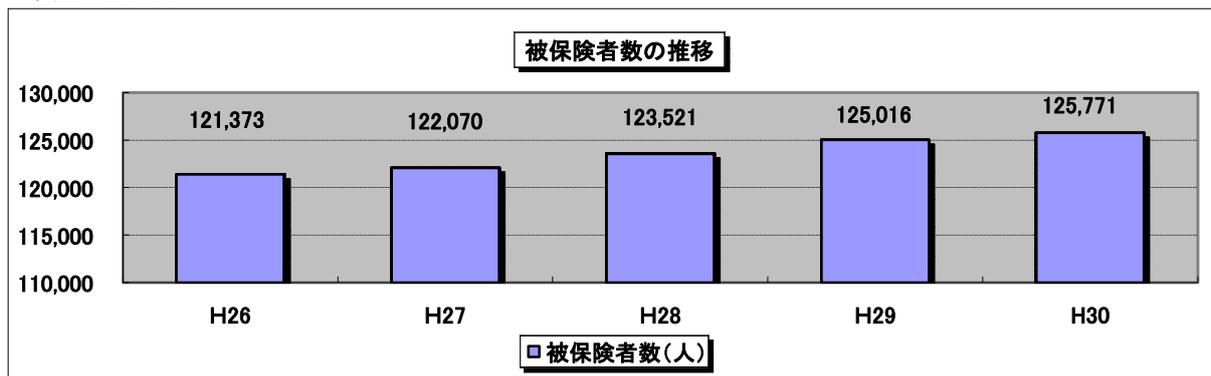
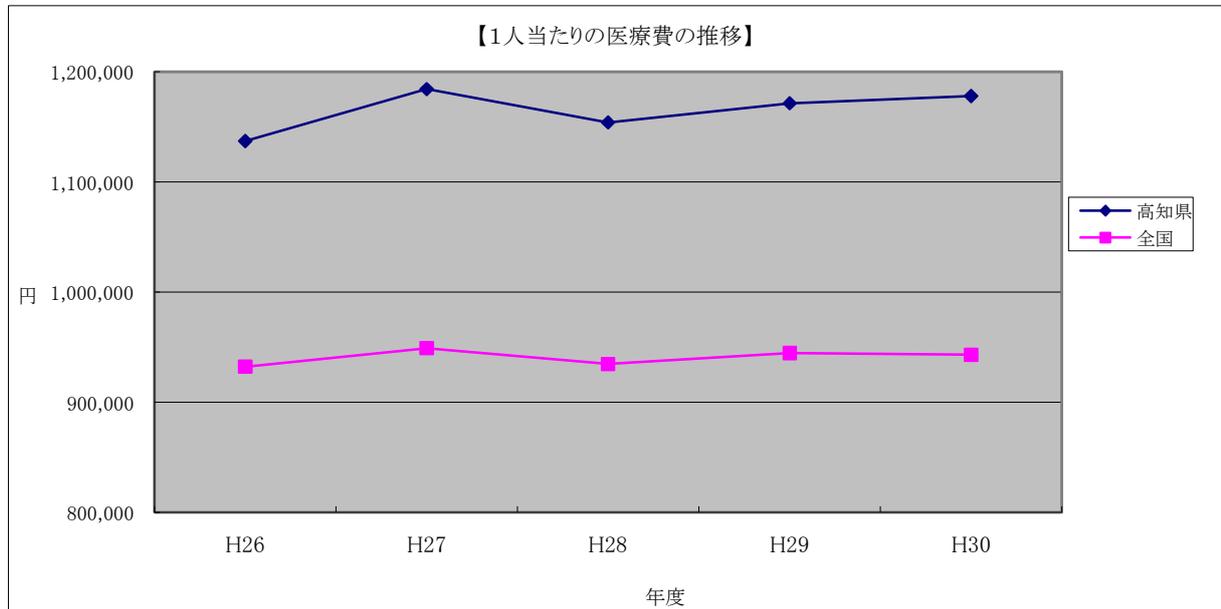


表3

1人当たりの医療費の推移

年度	実数(円)/年	対前年度比	全国平均(円)/年	対全国比	全国順位
平成26年度	1,137,065	101.4%	932,290	122.0%	2位
平成27年度	1,184,293	104.2%	949,070	124.8%	2位
平成28年度	1,153,981	97.4%	934,547	123.5%	2位
平成29年度	1,171,339	101.5%	944,561	124.0%	2位
平成30年度	1,178,054	100.6%	943,082	124.9%	2位

表3グラフ



(表1, 2, 3の数値について)

H26～30年度は「後期高齢者医療事業報告書(厚生労働省発行)」の数値。

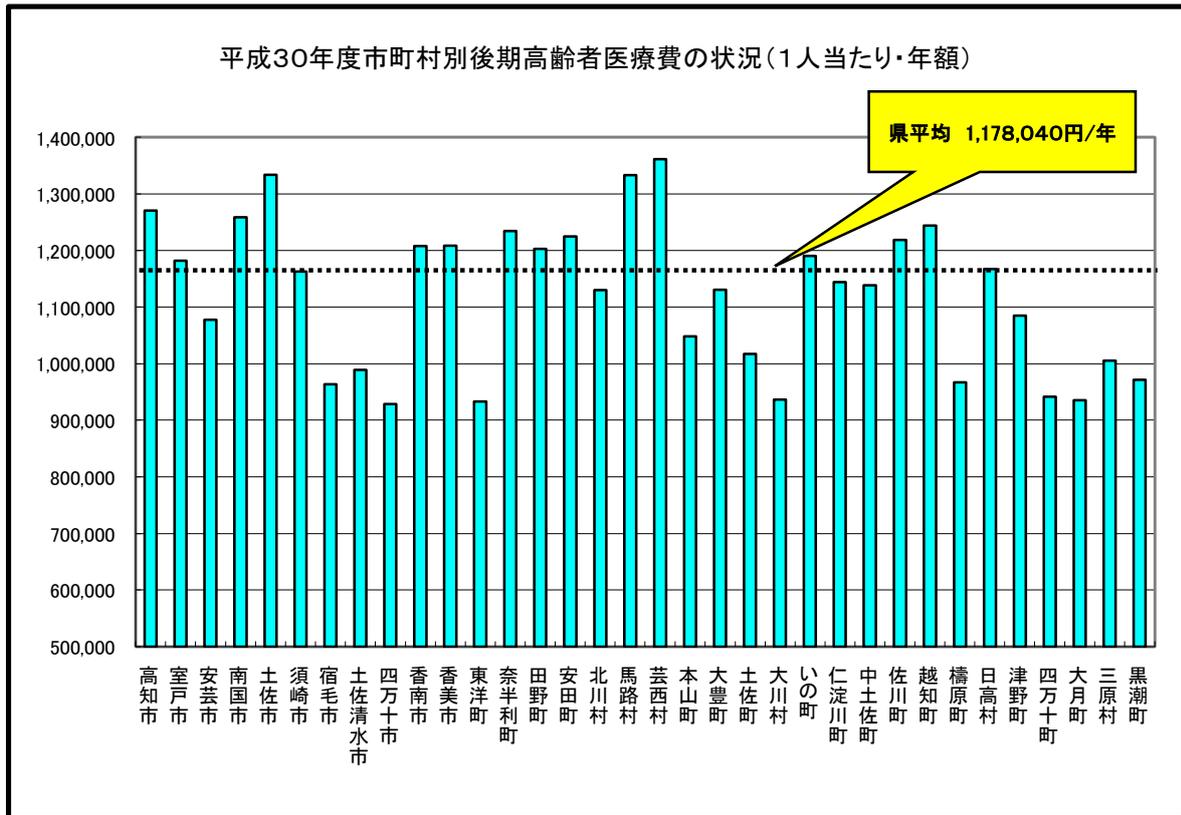
4. 市町村別後期高齢者医療費について

表4 平成30年度 市町村別後期高齢者医療費の状況

市町村名	後期高齢者医療被保険者数 (3~2月平均被保険者数)	医療費(円)	1人当たり医療費(円)			
			月額	年額	県平均を100とした指数	順位
高知市	45,522	57,834,371,971	105,873	1,270,465	107.8	4
室戸市	3,253	3,845,928,998	98,523	1,182,120	100.3	14
安芸市	3,585	3,862,899,576	89,793	1,077,467	91.5	22
南国市	7,208	9,071,298,226	104,875	1,258,490	106.8	5
土佐市	4,894	6,527,490,773	111,148	1,333,797	113.2	2
須崎市	4,466	5,193,634,355	96,911	1,162,862	98.7	16
宿毛市	3,819	3,679,707,397	80,294	963,611	81.8	29
土佐清水市	3,588	3,548,837,713	82,424	989,200	84.0	26
四万十市	6,096	5,661,831,578	77,398	928,689	78.8	34
香南市	5,294	6,393,532,457	100,641	1,207,580	102.5	11
香美市	5,817	7,028,355,393	100,687	1,208,331	102.6	10
東洋町	660	615,947,570	77,771	933,136	79.2	33
奈半利町	760	937,795,019	102,828	1,233,941	104.7	7
田野町	636	765,271,048	100,271	1,203,256	102.1	12
安田町	706	864,438,903	102,035	1,224,996	104.0	8
北川村	356	402,105,940	94,126	1,130,305	95.9	20
馬路村	223	296,823,101	110,920	1,333,038	113.2	3
芸西村	758	1,031,155,519	113,364	1,361,261	115.6	1
本山町	981	1,028,338,693	87,355	1,047,899	89.0	23
大豊町	1,341	1,516,724,258	94,253	1,130,618	96.0	19
土佐町	1,063	1,080,739,175	84,724	1,017,087	86.3	24
大川村	119	111,284,744	77,930	936,478	79.5	31
いの町	4,531	5,393,532,184	99,197	1,190,275	101.0	13
仁淀川町	1,889	2,162,216,656	95,386	1,144,282	97.1	17
中土佐町	1,852	2,110,160,209	94,950	1,138,949	96.7	18
佐川町	2,711	3,302,944,424	101,529	1,218,274	103.4	9
越知町	1,550	1,927,757,459	103,643	1,243,982	105.6	6
檮原町	937	906,040,344	80,580	966,615	82.1	28
日高村	1,108	1,293,649,155	97,296	1,167,290	99.1	15
津野町	1,487	1,611,858,415	90,331	1,084,331	92.0	21
四万十町	4,281	4,031,119,816	78,469	941,594	79.9	30
大月町	1,273	1,191,285,681	77,984	935,687	79.4	32
三原村	425	427,143,422	83,754	1,005,043	85.3	25
黒潮町	2,582	2,508,399,828	80,958	971,746	82.5	27
県	125,771	148,164,620,000	98,171	1,178,040	100.0	

・高知県後期高齢者医療広域連合

表4グラフ 平成30年度市町村別後期高齢者医療費の状況(1人当たり・年額)



【市町村別医療費の状況】

県内の後期高齢者医療被保険者数の約5割を占め、医療機関が約7割集中する県中央部での一人当たりの医療費が高く(土佐市2位、高知市4位、南国市5位)、そのことが高知県の医療費を押し上げる要因となっています。また、芸西村(1位)、馬路村(3位)、奈半利町(7位)をはじめとする県東部地域では、医療費が高い傾向にあり、逆に四万十町(30位)、大月町(32位)、四万十市(34位)など西部地域では、低い傾向にあります。